

国際会議補助金制度の新設を受け 千葉MICEサロンを開催



ちば国際コンベンションビューロー

財ちば国際コンベンションビューローは、毎年恒例となっているMICE主催者向けセミナー「千葉MICEサロン」を、(株)幕張メッセと(株)かずさアカデミアパークの共催の下、6月21日(火)、京葉銀行文化プラザ櫓の間において開催した。

今年の千葉MICEサロンには、約160名のMICE主催者や財団の賛助会員が参加。プログラムの中では、千葉県が新たに策定した日本最大規模の「国際会議開催補助金」制度や幕張メッセの新会議室の説明会、千葉駅周辺のMICE施設等の紹介が行なわれ、続いて開催された交流会・商談会では、活発に情報交換が行われた。

千葉MICEサロンでは、主催者を代表して同ビューローの石井 清昭専務理事、来賓を代表してJCCBの猪口 邦子会長、観光庁の岩本 晃一参事官(当時)、千葉県商工労働部の佐藤 忠信部長の挨拶の後、千葉県産業地域整備室の中村 耕太郎室

長から、今回新たに設けられた国際会議開催補助金制度について、具体的な内容が披露された。

この補助金制度では、会議への参加者が100人以上、会期が3日以上、参加国が5ヵ国以上などの基準を満たすと、会場借上費、会場設営・撤去費、機材関係費、外国人招聘費、看板・印刷物制作費、広告宣伝費の費用補助が、県や市町村から最大で2,000万円まで受けられるというもの。これまでは東京都や横浜市が同規模の補助金制度を創設しており、誘致で劣勢を強いられるケースもあったという。これからは、東京・

横浜と同じ土俵で戦えることから、この制度を広くPRし、活用を勧めていきたいとしている。

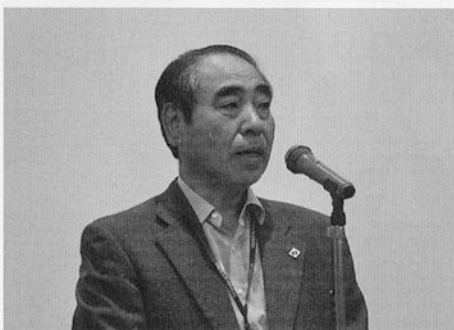
続いて幕張メッセの太田 文明チーフプロデューサーが、今年5月に新たにオープンさせた中会議室4室について説明。100人規模の部屋が少ないとの利用者のリクエストに応えたもので、レセプションやセミナーなど更に幅広い利用に対応できるようになったとアピール。また、同ビューローのデイビス・ベンジャミンMICEコーディネーターは、MICE関連施設がコンパクトに集まった千葉駅周辺エリアの魅力をPRした。



JCCB 猪口会長



千葉県商工労働部 佐藤部長



ちば国際CB 石井専務理事



観光庁 岩本参事官



商談会では活発に情報交換が行われた